

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 26 年度第 1 回生涯学習センター運営委員会		
事務局 (担当課)	教育振興部 生涯学習センター 内線 4567 (757-8481)		
開催日時	平成 26 年 4 月 10 日 (木) 午後 14 時～15 時 15 分		
開催場所	生涯学習センター 講義室 1		
出席者	委員	大塚啓子、大音裕子、堀田啓子、常行貞臣、松浦孝治 石津容子、安藤真弓 (欠席：山本朗)	
	その他	教育長	
	事務局	中定久紀、森谷啓一、海野恵子、福井恵実子	
傍聴の可否	Ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1. 開会 2. 教育長挨拶 3. 報告・議題 (1) 平成 25 年度アンケート結果について (資料 1) (2) 平成 26 年度生涯学習センター事業について (資料 2) (3) レフネック第 21 期生募集状況について (資料 3) (4) 平成 26 年度レフネック第 21 期生の入学式について (資料 4) (5) 生涯学習センター利用状況について (資料 5) 4. その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

審 議 経 過

1. 開会 14時

2. 教育長挨拶

教育長 本日、公務のため欠席いるが、石田教育振興部長が着任紹介。
平成25年度アンケート結果については、関心度、期待度、理解度が非常に高く、社会教育としての一翼を担っていることを確認することができました。生涯学習センターは、7月末をもってアステ市民プラザに移転することが決定している。移転当初は戸惑いがあることは予想されるが、講義室は広くなり以前から要望が多かった受講生増加についても検討することが可能となります。移転についての疑義については、今会議においても出ることはあろうかと考えられますが、今会議については議題にそって進め、疑義については6月に予定されている第2回運営委員会において解決した形で回答し、よい形で移行を完了したいと考えています。
平成26年度においてもレフネックがよりかたちで運営することができるように、ご協力をお願いしたい。

事務局 山本委員及び新木委員につきましては、所用のため欠席でございます。泉教育振興部長に変わり、石田が着任しております。本日、公務のため欠席でございます。
前任、中塚所長補佐、藤原囑託員に変わり、森谷主任及び福井囑託員が着任しております。

3. 報告・議題

(1) 平成25年度アンケート結果について（資料1）

委員長 事務局お願いします。

事務局 調査対象は24年度入学の「建築学科」及び「水資源・環境学科」、25年度入学の「地域・環境政策学科」及び「宇宙・天文学科」、4学科学生267名に配布し、190枚の回収あり、回収率は71.2%でした。

問1. 「レフネックをどの様にして知られたか」について

広報誌に掲載された募集記事にて知られたケースが最も多く、39.3%でした。続いて、ほぼ同数ではありますが、公共機関に置く「入学案内の冊子」で知られた方が38.5%を占めております。また、知人からレフネックを知ったとの回答も約14.4%ございました。

問2. レフネックの講義について

① 申し込み時と比べて

87.3%の学生が「期待以上の内容」か「期待通りの内容」と回答しております。学科ごとの回答としては、（建築学科）では、あまり時間にこだわらず、研究している内容であればお聞きしたい。（水資源・環境学科）では、最先端の問題点を教授頂き、大変興味深く受講出来た。（地域・環境政策学科）では、地震学等も含め、多岐に亘る講義は予想以上に興味があった。（宇宙・天文学科）では、理学系の講座なので、最初はむつかしい感じでしたが、講師の先生が変わるたびに復習するような気持ちで楽しく受講しています。などのご意見をいただきました。

②内容について

85.8%の学生が「よく理解できる」「理解できる」の回答がありました。（建築学科）では、内容はやや難しい方が満足できる。（水資源・環境科）では、初年度は高度過ぎて、理解し難かったが、2年目に入り理解できるようになった。（地域・環境政策学科）では、時間不足に感じる講義も多いが各論はよくわかる。もっと総合的な視野にたった講義を期待する。（宇宙・天文学科）では、内容が専門的すぎるところもあり、基本（基礎）講義を初めにしていただき、初級・中級へと講義をしていただければ理解しやすい。とのご意見がありました。

③講義前後の予習復習について

「適宜している」が53.7%、「特にしない」が42.6%の回答がございました。これは、毎年同じご意見をいただいておりますが、「予習レジュメがないのでできない。興味のある講義の時は予習復習をしている。」とのご意見です。事務局としましても、講師の方に対しまして資料をなるべく早い時期に提出いただくようお願いしておりますが、なかなかお忙しくされていきますので、講義の開始ぎりぎり資料が届いているのが実態でございます。それぞれのご意見はありますが、受講に対して熱心な姿勢が伺えます。また、資料を事前に配布しなければ予習できないということで、③講義前後の予習復習についての、「特にしない」とのご意見は、できないという事であるともいえます。いずれにしましても事務局としては、できる限り、講師の方と調整を図ってまいりたいと考えております。

問3.レフネックの事業運営について

① 課外講座について

例年、本科と異なり平日に開催していますことから、参加が難しいとのご意見はあるものの、参加していただいた学生からは、88.4%の方が「満足」もしくは「概ね満足」いただいているという結果となりました。

② オープン講座について

（建築学科）では、12月～4月に開催できないか。（水資源・環境学科）で

は、12月～3月の間に開催して下さい。というような意見はあり、内容については、概ね満足いただいているという結果となっておりますが、実施時期については、参加しにくいという声もありますので、そのあたりについて現状を確認していく必要性を感じております。

③ 学生委員会制度について

他の学習施設にない制度であり、学生の自主的・主体的な運営意識を育み、親睦を深めることを目的にしているものでございます。学生委員会制度について、理解を得られていない意見が多数ありますが、川西市生涯学習短期大学の特性である取り組みでございますので、いろいろとご意見もおありだと思いますが、学生委員会の主旨を今後も学生の方々にご理解いただくように取り組んでまいり次第でございます。

問 4. 今後レフネックで学習したい講座内容について

ご希望の高い順に、5 歴史、4 自然科学、3 生命科学、6 文学、10 社会学、2 心理学、8 経済学、11 工学、9 法学、1 福祉、7 商学という結果となっております。上位6つの講座内容につきましては、ここ数年変わらず要望が多い内容となっております。過去に開催しました学科等を勘案し、27年度に開催します学科やオープン講座の参考とさせていただきたいと考えております。なお、レフネックの課目は専門性の高い高度な内容を提供しているため、学生の要望はあくまで参考としてとらえさせていただき、学生の方々がより自己実現できる内容を目指し企画してまいりたいと考えております。

問 5. 「現在どのような生涯学習されているか」について

昨年のアンケート結果と比べてほぼ同じで、レフネックのみが48.4%となっているものの、やはり半数の学生がレフネック以外に他の施設でも学習している結果となりました。例年、阪神シニアカレッジはもちろんのこと、(建築学科)では、阪大公開講座、りんどう学園、NHK学園、(水資源・環境学科)では、関学オープン講座、りんどう学科、(地域・環境政策学科)では、健康大学、りんどう学園、などを利用されている方がおられるとのことでした。

問 6. 習得された知識や貴重な体験を活用した講師指導について

している 8.9% したいと思う 12.1% するつもりはない 72.1%となっており、実際に地域や教師として活躍されている方はおられるものの、半数以上の方が、レフネックで学んだ知識や経験を活用するつもりは無い。とのご回答を得ております。この中には、「したいと思うが、機会がない。(難しい)」という意見も含まれており、このあたりにつきまして、貴重な市内の地域資源としての動機付けや活躍の場の設定等が必要であると認識

しております。

問7.市では様々なコミュニティ活動やボランティア活動の参加を推奨していますが、このような地域活性化につながるような取り組みについて「参加している」「機会があれば参加したい」と75.3%の学生から回答があり地域社会への積極的な貢献は見られる状況となっております。今後、昨年よりも少しずつ「している」「したいと思う」数字を上げていけるよう、学生とコミュニケーションを図ってまいりたいと考えております。

なお、全体的に個々のコメントや自由意見から、多くの学生が前向きに学習に取り組んでおられ、レフネックに期待と満足をされている様子をうかがう事が出来ました。生涯学習は、暮らしに潤いと生きがいを求める学びから、現代的な課題を解決していくための学びまで、生涯にわたって自主的・主体的に学び続けるものであり、今後も学生の方々の学びを応援するための、企画や運営を心掛けていきたいと考えております。

以上、雑駁ではございますが、報告事項(1)平成25年度アンケート結果についての報告とさせていただきます。

委員長

ありがとうございました。このアンケートは毎年行っておられますね。毎回拝見しておりますして、レフネックに対し満足度が高いという数字が出ているように思います。何か見えてくるものは、事務局として学科以外に問題と感ずることはございますか。

事務局

数字で表れる満足度の要因として、水資源・環境学科においては学科単独での論文冊子を作成、授業後のきき水実施など、建築学科においても座学のみならず実感実験、学科終了後のOB会結成など、講師、事務局、学生による講義の枠にとらわれない主体的な取り組みが、高い満足度という形で表れているものかと考えています。

委員長

このような取り組みについては、講師と事務局間での打ち合わせが行われているのですか。

事務局

複数回講義される場合については、講義後に学生からの意見及び質問などを事務局との間で伝聞する場を持ち、次回からの講義に反映することにしております。単発で講義される場合につきましては、次回講義される講師の方への引き継ぎを徹底し、よりよい講義になるべく調整を行っております。いずれの場合においても、学生の学習意欲に答えるべく、講師の方々も真摯に向き合っていていただいております。

委員長

その他、アンケート結果については、よろしいでしょうか。

(2) 平成 26 年度生涯学習センター事業について (資料 2)

1. 生涯学習事業の推進について

(1) 生涯学習短期大学レフネックの運営

事務局 生涯学習短期大学「レフネック」につきましては、学科の名称やテーマ、内容につきましては前回運営委員会で報告の通りでございます。ご了解いただきますようお願いいたします。まず、新たに募集いたしました、1 年次「いきもの・環境学科」と「文化情報学科」は各々 20 講座、昨年度からの学科で 2 年次の「地域・環境政策学科」と「宇宙・天文学科」も各 20 講座を実施し一講座 5 万円の講師謝礼で 400 万円の予算で計画しております。

(2) オープン講座の開設

事務局 オープン講座はアステ市民プラザの広い会場での開講を想定し 200 人に定員を 50 人増員いたします。一般応募者 100 人、レフネック学生 100 人が受講するもので、今年度は 3～4 回の短期間の講義で話題性のある学習内容や講師に依頼しております。8 月、9 月は女性史講座、11 月は公衆衛生講座、さらに 12 月は気象講座を予定しています。内容等については前回ご報告のとおりでございます。55 万円の予算でございます。

(3) レフネック課外講座の開設

事務局 パソコン講座は 3 コース各 4 回、郷土史教室は 1 コース 5 回、陶芸教室は 1 コース 7 回を予定しており 18 万 6 0 0 円を計上しております。今年度予算から報償費の見直しがあり、特に市民の講師であるパソコン講座講師謝礼の減額がありました。

(4) レフネックの在學生、OB 生による生きがい学習塾の開催

事務局 「生きがい学習塾」はレフネックの学生が教壇に立って自らの経験や学習内容等を講義し発表・指導するもので舌が、OB 会等での内部講師の活動も活発になり、レフネック事務局として一定の役割は完了したものと考えております。また、新しい施設の貸室や講師の人選が難しくなってきたことと先ほども申しました市民講師による講師謝礼が今回 0 査定で、今年度は教室の環境様子を見ながらも閉講する予定でございます。

(5) レフネック入学式、修了式での学長式辞及び学長講話

事務局 学長式辞、講話で 3 回 50 万円を計上しております。

(6) レフネック 20 周年・市政 60 周年記念講演会（学長講話と共同開催）

事務局 レフネック 20 周年・市制 60 周年記念講演会は学長講話と併せ複数の講師でトークセッションを企画しております。ただし、先日「アステ市民プラザ」こけら落としの講演に木津川学長が選任されましたので、実施時期等、企画を再考しております。

2. 自主学習グループへの支援

(1) 学生委員会の開催

事務局 学生委員会についてですがレフネックの学生委員で構成する委員会を適時開催しており学生間の意思疎通・友情をはぐくむ場となっております。

(2) レフネックにおける在学生及びOB生の自主学習に対する、部屋の提供と助言

事務局 在学生やOB生への学習・交流場所の提供であります。

(3) 生涯学習センターを拠点とした自主学習グループに対する部屋の提供

事務局 自主学習グループへの部屋の提供ですが昨年度末で71グループが当センターを活動の拠点としていただいております。

3. 生涯学習センター運営委員会の開催

事務局 運営委員会の開催についてはレフネックの講座企画等の進捗に合わせて3回を予定しております。

4. センターの施設管理

事務局 センターの施設管理につきましては設備保守管理委託で4か月分を計上し87万6千円を、業務委託料は5か月分を計上し355万4千円を計上しております。
以上、平成26年度生涯学習センター事業計画について説明を終わらせていただきます。

委員長 ありがとうございました。事業計画につきまして、何かご質問はございますか。

委員 4番のセンターの施設管理についてですが、設備保守管理委託料 87 万円、業務委託料 355 万円と金額に大きな開きがあるが、どのようなものですか。

事務局 業務内容がちがっております。設備保守管理料につきましては、エレベーター、受水槽、消防用設備、自動扉等の保守管理を実施するものです。業務委託料につきましては、毎日実施していただく清掃業務、受付及び警備を実施する業務、セコムによる機械警備及び有事における見回り等、建築基準法第 12 条にかかる点検を実施するものです。業務委託料につきましては、毎日、人が実施するものであることから、これだけの金額のちがいが生じております。

委員長 その他、事業計画につきまして、何かご質問はございますか。他にご質問がなければ次の議題に移ります。

(3) レフネック第 21 期生募集状況について（資料 3）

事務局 レフネックの今年度 1 年次「いきもの・環境学科」と「文化情報学科」については 3 月 1 日から 29 日まで募集をいたしました。資料 3 をご覧ください。入学枠及び応募方法についてはここ数年の実施どおりの方法で優先枠も各 20 人を超えることはありませんでした。特に要望や苦情等も無く落ち着いた応募状況となっております。ただ、例年通り両学科とも定員を超える応募がありました。いきもの・環境学科で 103 人うち無効が 1 人、文化情報学科で 84 人、各々 1.46 倍、1.2 倍の倍率となっております。委員の皆様には恐れいたしますが調整のうえ公開抽選の実施・立会をお願いいたします。例年、委員長、副委員長のご協力のうえ公開抽選をお願いすることが多いのですが、委員皆様のご都合等を勘案しご協議ください。

委員長 ありがとうございます。例年通り、非常に好評のようですね。

委員 無効というのは、どのような理由でしょうか。

事務局 現在は他市に住まいであることで、在住・在勤という条件に合致しないことによるものです。対象者につきましては、電話連絡のうえ了承いただいておりますことを合わせて、ご報告させていただきます。

委員長 公開抽選につきましては、どのようにいたしましょうか。
それでは、委員長及び副委員長が立会・実施させていただきます。

(4) 平成 26 年度レフネック第 21 期生の入学式について (資料 4)

事務局 平成 26 年度レフネック第 21 期生の入学式についてでございますが、今年度 1 年次「いきもの・環境学科」と「文化情報学科」の入学式について資料 4 のとおり 5 月 17 日を予定しております。委員の皆様にはご多用とは存じますが当日午前 10 時にご臨席いただきますようお願いいたします。また、大塚委員長には記念写真に入ってくださいますので 9 時 30 分をお願いいたします。案内につきましては、資料末尾に同封させていただきますので、ハガキにて出欠可否をお知らせいただきますようお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。では、続いて生涯学習センターの利用状況につきまして事務局より説明をいただきます。

(5) 生涯学習センター利用状況について (資料 5)

事務局 平成 25 年度当センターの利用につきましては資料 5 をご覧ください。平成 25 年度の表、右側に利用合計を示しております。総利用者数は 39,803 人、件数は 1,593 件と前年度に比べ若干増加しております。

委員長 ありがとうございます。全体を通して、何かお聞きになりたいことございますか。

委員 報告・議題事項の(1)のアンケートの間 4 の今後レフネックで学習したい講座内容については、商学などは希望が少ない現状ですが、事務局としては少ないからやめるのか、人気があるからやるのか、そのあたりの指針をお聞きしたい。

事務局 さきほどの報告の中でも申し上げましたが、学生の要望はあくまで参考としてとらえさせていただき、学生の方々がより自己実現できる内容を目指し企画してまいりたいと考えております。実状を申し上げますと、アンケート結果から講座を組み立てますと、応募は少ないことが多々ございます。名前があがりました商学につきましても、学問として過去と現在では大きく内容がことなるものもあり、学問の幅を広げるべく、入学案内等で広く知らしめていきたく考えております。

委員長 講座内容を検討するにあたり、生涯学習センターの立ち位置についてお聞きしたい。これまでは、生涯学習センターの事業の 1 つとしてレフネックがあり、アンケートや学生の方々がより自己実現できる内容を目指して企画するということであつたが、レフネックが独立するのか、どこか違う所管となるかで、講座内容の検討方法も変わってくるのではないかと。

レフネックの立ち位置はどうなるのか。明確になっていることを教えていただきたい。

事務局

生涯学習センターは、7月末にて法的根拠である設置管理条例がなくなります。生涯学習短期大学については、アステ市民プラザに移転し、場所の拡充及び定数の増加等を図り、さらなる充実を目指しております。

委員

それでは、私たち生涯学習センター運営委員という立場についても変化しますか。

事務局

生涯学習センター委員設置根拠である設置管理条例7月末で失効いたしますので、第2回運営委員会において設置要綱等の規則をご提示させていただき、みなさまのご意見等をいただきたいと考えております。

委員

レフネックは、教育振興部まなび支援室の所管ということによいのですか。

事務局

レスネックは、教育振興部まなび支援室の所管でございます。まなび支援室には、公民館10館も所管させていただいております。生涯学習短期大学につきましては、さきほど申し上げましたとおり、アステ市民プラザに移転後もさらなる充実を考えております。

委員

アステ市民プラザの所管は教育振興部ではないですが。

事務局

アステ市民プラザの所管は市民生活部であり、教育振興部の範疇ではございませんが、レフネックの講義等については最優先とさせていただいておりますので、ご安心ください。

委員長

生涯学習センター事務局は、図書館の大小2部屋ある小さい方の部屋に移転するという事によろしいですか。また、図書館で活動されているグループの活動については、支障はないのですか。

事務局

生涯学習センター事務局については、アステ市民プラザ6階でございます小さい方のお部屋に移転させていただきます。また、学生からの相談等に応じるためのスペースも確保する予定でございます。現在、図書館で活動されているグループにつきましては、利用頻度や人数等を勘案したところ、大きなお部屋での活動を行っていただくことで、支障ない状況でございますので、ご安心ください。事務局といたしましては、移転に伴い、貸館業務等がなくなり、川西市生涯学習短期大学の企画・運営に特化した取り組みを行うことができるようになり、さらなる充実を見込んでおります。

委員	レフネックという名称がなくなってしまうのですか。
事務局	レフネックは川西市生涯学習短期大学の愛称であり、20年守ってきた伝統ですので、今後ともなくなることはありません。
委員	アステ市民プラザ移転に伴った、川西市生涯学習短期大学専従の職員が配置されるのですか。
事務局	私たちが専従の職員であり、生涯学習センター移転に伴って、職員も移転いたします。運営委員会においても、アステ市民プラザにおいて実施することになるかと思われまます。
委員	その他の登録グループの活動はどのようになるのですか。
事務局	各グループには使用説明を行っております。平成26年度登録グループは56グループであり、グループ数は少なくなっておりますが、各グループの要望についても適宜対応させていただいております。具体例としましては、ここに置いてありますピアノの4台中3台は、グループさんからの要請もあり、防音加工が施されているお部屋に分散して設置移転する予定となっております。
委員長	移転については、レフネック・登録グループ等の活動が振り分けられるという苦肉の策という印象があり、もっと事前に検討する場面をもつことや今後も移転後の活動や実際の活動場所の見学なども検討していただきたい。
事務局	レフネックの学生及び登録グループについては、移転に関するアンケートを実施しており、前向きな回答が多くありました。交通の便がよくなる、施設が大きくなるなど、移転については好意的にとらえていただいております。
委員長	レフネックの学生や登録グループの方々が移転について期待をもっていることがよくわかりました。そのためにも、レフネックが商業的なものではなく、設立当初の理念を大切にしていきたい。
教育長	移転については、耐震化に難しいこと、利便性のことがあります。移転するとなった際、中央図書館があること、20数年が経過してリニューアルするも兼ねて、より利便性を向上することを目的として市民のために移転するものです。中央公民館については、4月から一地区館としてスタートしています。平成29年度には、総合センターが中北にできます。その中には、

中央公民館、文化会館、福祉関係の施設、貸館の施設が入ります。それまでは、中央公民館も一地区館としてやっていきます。分離した形にはなりますが、8月以降は中央図書館の5階にはレフネックとしての看板を設置したうえで、開設していきます。分室のような印象をうけることもありますが、機能的にもそのほうがよいと判断していますし、よい形で発展させていただきたいと考えています。情報については、6月に運営委員会るときには資料を添えて報告させていただきます。

委員長

生涯学習については、紙面ではなくインターネット等で学習する時代となっており、建物の時代ではなくなっている部分もあります。

教育長

補足いたしますと、公民館には担当課長がおり、10館にはそれぞれ館長がおり、中定室長が兼務いたしますが、基本的には生涯学習センターレフネックや高齢者大学や一般教養講座などを中心に運営させていただきます。

5. その他

その他特記なし

閉会 15時15分